

地区福祉推進会議における意見等

◎提言：特になし

◎意見（参考）

1. 中央地区福祉推進会議

(1) 今回（7月）の大雨の際の避難について

- ① 避難所に避難したが食べ物はなく、自分の町内会では、避難するにあたって飲食料品や、タオル、着替え等の非常持出品の準備をするよう連絡網で回した。「福祉館だより」にはこういった情報が載っていないので掲載することができればいいのでは。
- ② 行政としても「自分がどこに避難すべきか」「自分の家は安全だから避難する必要はない」などを、日頃から意識して考えてもらうべきだった。

(2) 中央地区の問題点として、「地域の人口動態の変化もあり、学童保育の確保に苦慮している」ということがある。

(3) 地域福祉マップが本当に必要なのではないか。地域福祉マップを「作る」というよりも「みんなで共有する」。今の地域がどうなっているということのために地域福祉マップがある。

2. 谷山地区福祉推進会議

(1) 今回の大雨の際の対応について

- ① 寝たきり等で動けなく、またトイレの問題等があり、人に迷惑を掛けてしまうということで避難所に避難しない人もいた。要介護の人が避難しやすい避難所等の施設が整備されると良い。
- ② 個人情報の問題はあるが、助けを必要としている人の把握を専門機関や地域の連携でできれば、いざという時の人の確保や準備に有益ではないか。

3. 伊敷地区福祉推進会議

(1) 今回の大雨の際の対応について

- ① 校区社協、民生委員が協力してお年寄りに声をかけて回った。これまで避難所に泊まるという事例がなかったが、今回は避難所に寝泊まりする世帯があり、小山田の避難所3か所に校区社協でおにぎりやお茶を買い出しして配った。この経験から、福祉の仕事が見えてきた気がした。
- ② 皆与志地区は、地震以外の避難できる避難所が校区内にない。高齢者に避難指示がでたが、交通手段がない方を校区外の避難所まで自家用車で送迎した。避難先には飲み物もなく、避難指示をするならば、自分で持っていくものを最初に伝えておくことや、避難する場所が近くにないところがあることを考えてほしい。

4. 吉野地区福祉推進会議

- (1) 「民生委員の人材の掘り起こしと育成を図る」ことについて
 - ① 民生委員の仕事の大切さややりがいを、民生委員自身も地域の方に伝え、理解を求める必要がある。
 - ② 民生委員は地域になくってはならない役目を持っているので、色々な方に声をかけて、若いうちから育ててつなげていけたらと思う。
- (2) 子育て支援について
話すことでストレス発散や本人自身が解決していくこともあるので、話ができる環境があることが大事だと思う。また地域に密着して子どもに関わるなど、思いやりのあるおせっかいが良い。

5. 桜島地区福祉推進会議

- (1) 避難所開設の基準が分かりにくい。どのような災害では、どこの避難所が開設するのか、住民への周知が必要

6. 喜入地区福祉推進会議

- (1) 地区内の医師が小学校に出向いて認知症についての講演を行ったり、民生委員が小学校に出向いて民生委員の仕事や役割について教えていることは、非常に良いことである。
- (2) 各地区の指導者等が少なくなっているなかでも、六月灯、夏祭りなど色々工夫して盛り上げる努力をしている。

7. 松元地区福祉推進会議

- (1) 地域の人材は地域で守ることが必要。誰が誰を支援、と具体的なことが必要で、行政にそれを求めるのは難しい。

8. 郡山地区福祉推進会議

- (1) 支えあいマップ作りの利点は、作成を通じて地域の実情がわかって来ること。災害発生時にも生かされる。
- (2) 見守りはさりげないもの、軽い見守りが必要。できることだけやる。
- (3) 災害時の避難行動要支援者については、民生委員が同意を確認するようになっているが、訪問すると過半数の方が必要ないと言われる。